



ステラケミファ株式会社

本 社

〒541-0044 大阪府大阪市中央区伏見町四丁目1番1号（明治安田生命大阪御堂筋ビル10F）

<https://www.stella-chemifa.co.jp>

Beyond the Chemical

Corporate Information

化学を超えて、
化学の向こうへ



経営理念

1. 健全で信頼される企業

従業員の安全と健康に最大限配慮し、健全な企業を築き、信頼される企業で有り続けます。

2. 技術の追求

技術を限りなく追求する姿勢を持ち続けます。

3. 知恵と創造

広い視野を持ち、知恵をもって創意工夫し、新しい価値の創造に努めます。

4. 挑戦の精神

全従業員一体となり、目標を成し遂げようとする意志を強く持ちます。

社訓

1. 健康であれ

2. 誠実であれ

3. 勇気をもて

4. 知恵をみがけ

5. 責任感をもて

スローガン

Beyond the Chemical

化学を超えて、化学の向こうへ

このコーポレートスローガンは、2016年、創業100周年という節目に、全役職員による社内公募と選考を経て生まれました。

当社は時代の流れにあわせ、化学を軸に事業を成長させてまいりました。しかし、成熟した現在の日本においては、従来の枠組みだけでは持続的な成長が難しい時代に入っています。だからこそ私たちは「化学を超える」という選択をしました。

それは、化学を捨てることではありません。これまで培ってきた化学分野での強みを活かし、その先の未来へと歩み出す決意を示しています。また、利益の追求に偏るのではなく、人々の幸せにつながる価値を生み出し、生活を支える存在であり続けたいという意思も、このスローガンには込められています。

Beyond the Chemical

化学を超えて、化学の向こうへ

化学を通じて より良い未来の創造に貢献する 高純度フッ素化合物の リーディングカンパニー

1916年に大阪府堺市で誕生した当社は、1930年代より無機フッ素化合物の総合メーカーとして歩を進めてまいりました。現在では、半導体向け製品を主力に据え、最先端産業を支える存在へと成長を遂げています。半導体は社会インフラを含む幅広い領域を支える“現代社会の頭脳”です。当社はその製造に不可欠なフッ素化合物の安定供給を通じて、世界の技術革新に貢献し続けています。さらに半導体の市場拡大と高性能化が進む中、研究開発を通じて進化を重ね、次世代ニーズに応える製品の創出に挑戦しています。またフッ素化合物は、電子機器の性能向上に寄与する材料から歯磨き粉などの日用品に至るまで、幅広い分野で活用され、暮らしのあらゆる場面を支えています。これからも当社は技術力を礎に、「社会を支える素材」を通じて、安全・安心で快適な未来の実現に貢献してまいります。

18.998403
 $1s^2 2s^2 2p^5$

9

F

FLUORINE

沿革

110年の挑戦、その先の未来へ

1916(大正5年)

大阪府堺市に
橋本升高堂製薬所を創業、
硫酸塩の製造開始



創業者 橋本治三郎

1930(昭和5年)

フッ素化合物の製造を開始

1934(昭和9年)

合名会社橋本製薬所を設立

1944(昭和19年)

橋本化成工業株式会社(大阪府堺市)を設立

1945(昭和20年)

少林寺工場(大阪府堺市)で硫酸銅の生産再開

1956(昭和31年)

三宝工場(大阪府堺市)を再開、フッ化水素酸製造設備を増設

1961(昭和36年)

三宝工場にフッ化水素酸、フッ化アルミニウム、
その他フッ化物製造設備を増設

1963(昭和38年)

三フッ化ホウ素ガスの国産工業化に成功

1970(昭和45年)

泉工場(大阪府
泉大津市)を設置



1971(昭和46年)

三宝工場に乾式フッ化アルミニウム製造設備完成

1984(昭和59年)

三宝工場に半導体用高純度フッ化水素酸クリーンプラント
(PAS-I)完成

1990(平成2年)

本社を大阪府大阪市西区に移転

社名を橋本化成株式会社に变更

三宝工場に半導体用超高純度フッ化水素酸クリーンプラント
(PAS-II)完成

1991(平成3年)

運輸部門を分離独立し、100%子会社
ブルーエクスプレス株式会社を設立

1994(平成6年)

韓国に合弁会社 FECT CO., LTD.を設立

1996(平成8年)

泉工場に六フッ化リン酸リチウムの新プラント完成

1997(平成9年)

三宝工場に新事務棟・研究所完成
社名をステラケミファ株式会社に变更

1999(平成11年)

三宝工場に半導体用超高純度フッ化水素酸クリーンプラント
(PAS-III)完成

本社を大阪府大阪市中央区淡路町に移転

大阪証券取引所市場第二部に上場

2000(平成12年)

東京証券取引所市場第一部および
大阪証券取引所市場第一部に上場

泉工場に濃縮ホウ素(ボロン10)の
プラントが完成



2001(平成13年)

シンガポールに100%子会社
STELLA CHEMIFA
SINGAPORE PTE LTDを設立



2002(平成14年)

中国に合弁会社浙江瑞星フッ化工業有限公司を設立

2007(平成19年)

100%子会社ステラファーマ株式会社を設立、
メディカル事業を本格化

三宝工場に半導体用超高純度
フッ化水素酸クリーンプラント
(PAS-IV)完成



2012(平成24年)

泉工場に六フッ化リン酸リチウムの増設プラント完成

2014(平成26年)

北九州工場(福岡県
北九州市八幡西区)を設置



2015(平成27年)

中国に合弁会社衢州北斗星化学新材料有限公司を設立

2016(平成28年)

泉工場にリチウムイオン二次電池用添加剤の量産設備が完成

2017(平成29年)

GMP 対応フッ化スズの本格生産を泉工場で開始

2018(平成30年)

本社を大阪府大阪市中央区伏見町に移転

2021(令和3年)

ステラファーマ株式会社が東京証券取引所マザーズに上場

合弁会社 FECT CO., LTD. の合併解消(当社保有全株式譲渡)

2022(令和4年)

ステラファーマ株式会社が連結子会社から
持分法適用関連会社へ移行

東京証券取引所の市場区分の見直しにより
市場第一部からプライム市場へ移行

2023(令和5年)

三宝工場内に
次世代材料研究棟が完成



事業

フッ素化合物

半導体関連薬液

エネルギー

電子材料関連

一般製品

様々な分野で活用される フッ素化合物の リーディングカンパニー

他の元素と結びつくことで、驚くほど多彩な特徴を発揮するフッ素。

当社はこのフッ素の可能性を追求し続けることで、
オンリーワンの技術を生み出してきたフッ素化合物のリーディングカンパニーです。

工業用フッ酸

仕入製品



高純度薬品事業

フッ素化学で世界トップレベルのシェア

高純度薬品事業では、1930年以降一貫してフッ素化学をメインテーマとし、高純度、高品質のフッ素化合物の開発に取り組んできた結果、最先端技術に関わる分野で高いマーケットシェアを誇っています。

半導体関連薬液

当社は早期から高純度精製化に成功し、半導体製造工程における洗浄やエッチング用薬液を手掛けており、半導体向け高純度薬液分野において国内外で高いシェアを誇っています。近年のデータセンターやAI等を使用される高性能な半導体製造には、より高純度な薬液や機能性を有した薬液が求められており、当社はこうしたニーズに応えています。当社の「高純度フッ化水素酸」は、顧客の製造工程に合わせたカスタマイズが可能であり、その種類は約200種類に及びます。

主な用途

- ・半導体製造における、シリコンウェハのウェットエッチングおよびウェット洗浄

電子材料関連

サーバーの電力制御用として搭載されるタンタルコンデンサーの原料の製造助剤や、半導体ステッパー（露光装置）・デジタルカメラなどのレンズ材料、シンチレータの原料など、各種高純度フッ素化合物を製造・販売しています。

主な用途

- ・タンタルコンデンサーで使われるタンタル製造助剤
- ・カメラ・ステッパー用レンズ原料
- ・LEDに使われる蛍光体製造用原料や蛍光体

工業用フッ酸

各種フッ素化合物の原料となるほか、ステンレスの酸洗浄・石英部材の洗浄・液晶パネルの薄化に使用されるフッ化水素酸の販売を行っています。

主な用途

- ・ステンレスの酸洗浄
- ・石英部材の洗浄
- ・液晶パネルの薄化

エネルギー

濃縮ホウ素（ボロン10）は中性子を吸収する性質を持ち、当社はフッ素を利用したその濃縮技術を確認いたしました。主に国内外の原子力関連施設向けに、濃縮ホウ素（ボロン10）の製造・販売を行っており、原子炉の余剰反応度制御などを通じて、原子力関連施設の安全運転に大きく貢献しています。また、濃縮度が99%以上のものは、医療分野においても応用されています。その他、各種二次電池の性能を向上させる材料の研究開発や、関連会社においてはリチウムイオン二次電池用電解質の製造・販売も行っています。

主な用途

- ・原子力関連施設の一次冷却水や使用済み核燃料の輸送・貯蔵容器の中性子吸収材など
- ・がん治療薬の原料（BNCT：ホウ素中性子補足療法）
- ・リチウムイオン二次電池の電解質
- ・各種二次電池用添加剤

一般製品

歯磨き用添加剤としての「フッ化スズ（GMP対応）」を製造しており、美観意識の高い欧米を中心に販売しています。また、様々な化学品や医薬中間体の合成触媒の製造・販売も行っており、国内外の化学・製薬メーカーへ幅広く製品の供給を行っています。

主な用途

- ・歯磨き用添加剤
- ・化学品や医薬中間体の触媒

仕入製品

各種工業用フッ素化合物を国内外から仕入れ、当社にて品質確認を実施し販売を行っています。

主な用途

- ・フッ化アルミニウム
- ・精製フッ化ナトリウム
- ・酸性フッ化アンモニウム など

最先端の技術を支える「フッ素」とは



「フッ素」は、フライパンなどのフッ素樹脂コーティングや歯磨き粉など、日常生活で身近な存在として知られています。一方で、爆発性・発火性・毒性・腐食性といった危険性を併せ持つ元素でもあります。当社は、「フッ素」の安全な取り扱い方法と適切な処理に関するノウハウを確立しているからこそ、自信をもって高品質なフッ素製品を世に送り出すことが出来るのです。

PFASとは？

「PFAS（ピーファス）」とは、「Per- and polyfluoroalkyl substances」の略称で、主に炭素とフッ素から構成される「有機」化学物質の総称です。現時点では世界共通の明確な定義は確立されていませんが、理論上、PFASに分類される物質は約700万種類にも及ぶといわれています。当社はフッ素を取り扱うメーカーですが、製品はすべて「無機」フッ素化合物であり、PFASに該当する製品の製造は行っておりません。

拠点

研究開発 / 生産



次世代材料研究棟



三宝工場



北九州工場



泉工場



研究開発拠点

次世代材料研究棟（大阪府堺市）

当社の「次世代材料研究棟」は、主力事業であるフッ素の研究開発をさらに加速し、新たな事業創出を目指すための拠点です。

中長期の成長市場を見据えた研究開発

最先端の半導体向け高機能・超高純度薬液の開発や、全固体電池をはじめとする次世代電池材料の開発、新用途に対応した高機能フッ化物の開発、さらにはバイオ分野における材料開発など、当社の強みである要素技術を活かし、中長期的な成長が期待される分野に向けた研究開発を推進しています。

最新の研究開発設備とイノベーションを支える職場環境

次世代材料研究棟には、ドライルームや環境試験室、クリーンルームなどの最新設備を備えています。これにより、各研究テーマに適した環境下での実験や試作が可能です。また、研究者同士の円滑なコミュニケーションを促進するため、オフィス空間にも工夫を凝らし、イノベーションの創出と生産性の向上を支える職場環境を整えています。



COLUMN

研究開発拠点 設立の経緯

従来の研究開発拠点は三宝工場（堺市）と泉工場（泉大津市）に分散しており、研究開発力のさらなる向上を目指すうえで、より一体的で高度な環境の構築が求められていました。そこで、必要な機能・設備の拡充を図るため、2023年に三宝工場敷地内へ「次世代材料研究棟」を新設し、研究開発環境の集約・整備を行いました。



生産拠点

三宝工場（大阪府堺市）

半導体用高純度薬液の主要生産拠点として、半導体製造工程における洗浄やエッチングに使用される各種薬液を製造しています。

当社の高純度薬液は、半導体製造に不可欠な製品として、国内外でトップレベルのシェアを有しています。近年では、半導体メーカーの需要拡大に対応するため、充填設備の刷新を進めるなど、生産効率の向上と能力強化を図っています。



北九州工場（福岡県北九州市）

主力製品である半導体用高純度薬液の生産能力増強を目的として建設されました。また、主要生産拠点が大規模災害に見舞われた場合においても製品の安定供給を維持できるよう、生産拠点の分散という重要な経営課題にも対応しています。

泉工場（大阪府泉大津市）

半導体用高純度薬液以外のフッ素化合物の製造・販売を主に担う拠点です。主要な製品には、濃縮ホウ素化合物やフッ化スズなどが挙げられます。このほか、タンタル製造助剤やカメラ・ステッパレンズ用材料、医薬品中間体の製造に用いられる触媒など、幅広いフッ素化合物を手がけています。当社の独自技術を活かした特色ある製品の製造を担う、重要な生産拠点です。



COLUMN

主要原材料 「無水フッ化水素酸」

当社製品の主要原材料である無水フッ化水素酸は、フッ化カルシウム（蛍石）に濃硫酸を反応させることで製造されます。蛍石の埋蔵量は中国が世界最大であることや地理的要因もあり、これまで原料の大半を中国からの調達に頼る状況となっていました。一方で現在では、欧州など中国以外の地域からの調達も進めており、今後も原料調達先の分散化を継続的に推進していく方針です。

拠 点

グローバル展開



ブルーエクスプレス株式会社

ステラファーマ株式会社

ブルーオートトラスト株式会社

浙江瑞星フッ化工業有限公司

衢州北斗星化学新材料有限公司

星青国際貿易(上海)有限公司

青星国際貨物運輸代理(上海)有限公司

STELLA EXPRESS (SINGAPORE) PTE LTD

STELLA CHEMIFA SINGAPORE PTE LTD



グループ会社・グローバル拠点紹介

日 本

ブルーエクスプレス株式会社 <https://www.blue-express.co.jp>

〒590-0977 大阪府堺市堺区大浜西町10番地

事業内容

総合物流業、フッ化水素酸をはじめとする化学品の仕入・販売

ブルーオートトラスト株式会社

〒590-0977 大阪府堺市堺区大浜西町10番地

事業内容

保険代理業、自動車整備業

ステラファーマ株式会社 <https://stella-pharma.co.jp>

〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋3丁目2番7号 (ORIX 高麗橋ビル8F)

事業内容

メディカル事業

中 国

浙江瑞星フッ化工業有限公司

中華人民共和国

事業内容

フッ化水素酸の製造・販売

星青国際貿易(上海)有限公司

中華人民共和国上海市
浦東新区浦東南路528号 証券ビル南楼2002室

事業内容

高純度薬品の仕入・販売

青星国際貨物運輸代理(上海)有限公司

中華人民共和国上海市
浦東新区浦東南路528号 証券ビル南楼2002室

事業内容

運輸・通関業

衢州北斗星化学新材料有限公司

中華人民共和国浙江省衢州市
柯城区念化路17号

事業内容

高純度薬品の製造・販売

シンガポール

STELLA CHEMIFA SINGAPORE PTE LTD

21 Merlimau Place, Jurong Island, Singapore 627840

事業内容

高純度薬品の製造・販売

STELLA EXPRESS (SINGAPORE) PTE LTD

36 Robinson Road, #12-02 City House, Singapore 068877

事業内容

運輸・通関業

COLUMN

半導体用薬液 複数拠点のメリット

当社の主力製品である半導体用薬液は、大阪府堺市にある三宝工場で製造しています。これに加え、2001年にシンガポール、2014年には福岡県北九州市に製造拠点を設けることで、年間10万5,000トンの製造能力を整えました。複数の拠点を持つことで、製造能力の向上に加え、BCP(事業継続計画)の観点からも重要な役割を果たしています。今後も拠点間の連携を一層強化し、製品の安定供給に努めてまいります。

サステナビリティへの取り組み

当社は、経営理念の実践とともに、コーポレートスローガンである「Beyond the Chemical ～化学を超えて化学の向こうへ～」のもと、事業活動を通じて持続可能な社会の実現と企業価値の向上に努めています。



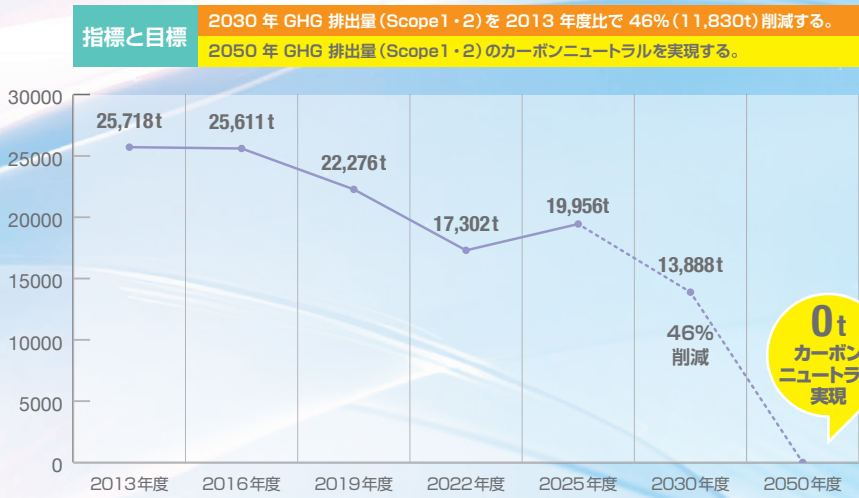
重要課題

	マテリアリティ	目指す姿	目標水準
1	事業を通じた貢献	社会課題解決に貢献する次世代研究開発テーマに独創的視点で取り組み、培った独自技術を活かした新製品が提供できている状態	・濃縮ホウ酸生産設備の整備および改質 ・フッ化スズ増産 ・半導体製造工程の改善につながる薬液 ・LiB電池の高性能化に寄与する材料 ・無機フッ素化合物またはフッ素技術を用いた製品
		顧客のニーズを捉え高品質かつ安全性に配慮した製品を安定供給することにより、顧客満足が向上している状態	・大手顧客上位20位の顧客満足度を年間平均最高評価率50%以上 ・顧客からの要求による安全講習会開催100%対応
2	気候変動への対応と環境保全	2050年カーボンニュートラルが達成できている状態	・2013年度比で2030年度排出量を46%削減
		事業から排出される化学物質を管理・低減させ、自然環境への負荷を軽減できている状態	・法令基準値の超過ゼロを継続
		効率的な水利用を行い、排出する水質の向上を図り水リスクを低減している状態	・主要事業所3工場の取水量を2017年度比で10%削減
3	働きがいのある安全な環境の構築	従業員のワークライフバランスが実現され、働き甲斐を感じている状態	・有給取得率80%以上を維持 ・男性育児休業取得率50%以上 ・定年退職後の再雇用は、現行の高水準(80%以上)を維持
		研修や資格取得により、従業員の仕事に対する意識や知識、技術が向上している状態	・社外研修・講習、資格講習、社内研修の計画的な受講 ・基本給・賞与合計の男女賃金差異90%以上を維持(正規雇用・男性を100%とした場合)
		従業員が安全かつ健康で働ける状態	・度数率：1.25 / 強度率：0.08
4	人権の尊重	サプライヤーを含め、人種、性別、民族、国籍等の事由による不当な差別をせず、人権を尊重し事業を実施できている状態	・差別・ハラスメント防止、人権に関する定性的な取り組みを進めていく ・人権方針の策定・公開
5	企業価値を高めるガバナンスの強化	従業員がコンプライアンス・関連法規を認識・遵守できている状態	・コンプライアンス重大違反件数：0件
		迅速に経営意思決定が実施され、経営の健全性が確保されている状態	・取締役会の実効性評価(第三者評価) ・社外取締役選定基準の明確化 ・情報セキュリティ重大事故件数：0件
		ステークホルダーに対し、迅速かつ正確に期待される情報を開示している状態	・日英同日同時開示 ・サステナビリティ情報の開示

気候変動への対応

持続可能な社会(2050年のカーボンニュートラル社会)の実現に向け、環境問題への取り組みが企業活動に必須の要件であることを認識しております。

また、気候変動への対応も重要な経営課題のひとつであると捉えており、TCFD提言に基づき対応を推進しながら、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献できるよう取り組んでいます。





独自の技術とノウハウで迅速かつ安全な物流を実現

主な輸送項目 特殊化学物質・高圧ガス・危険物など

運輸事業は、1989年にステラケミファ株式会社の物流部門として始まり、1991年にブルーエクスプレス株式会社を設立しました。以来、特殊化学物質・高圧ガス・危険物など他社では対応しきれない製品の輸送に関して、独自の技術とノウハウで万全に対応し、高い信頼性を築き上げてきました。



商 号	ブルーエクスプレス株式会社 BLUE EXPRESS, INC.	通 関 拠 点	本社事務所 / 横浜事務所 / 大阪事務所
本社所在地	大阪府堺市堺区大浜西町10番地	輸 送 拠 点	本社営業所 / 仙台営業所 / 関東営業所 横浜営業所 / 清水営業所 / 名古屋営業所 神戸営業所 / 北九州営業所
代 表 者	代表取締役会長 坂 喜代憲 代表取締役社長 御園 司		
設 立	1991 (平成3) 年6月20日		
資 本 金	3億5,000万円		
事 業 内 容	一般貨物自動車運送事業 / 国際複合一貫輸送事業 / 倉庫業 / 通関業 輸出梱包業 / コンテナ・タンク等の販売、レンタル及びリース業 化学工業薬品（輸出入含む）の卸売業 / 不動産賃貸業 / 作業請負業		

国際複合一貫物流体制

フッ素をはじめとする特殊化学物質などをやさしく確実に輸送することをモットーに実績を積み重ねてきました。スタッフひとりひとりが特殊ライセンスマンであり、本当の安全輸送を熟知した物流エンジニアです。安全へのこだわりを軸に、より効率的な物流システムをプロデュースしています。

ますます多様化する物流ニーズ。国内のみならず国際間においても、きめ細かなサービスで対応しています。貿易に関する諸手続きの代行から、集荷業務、陸上における保管・管理・流通加工・配送に至るまでフルバードワイドな物流サービスを提供します。



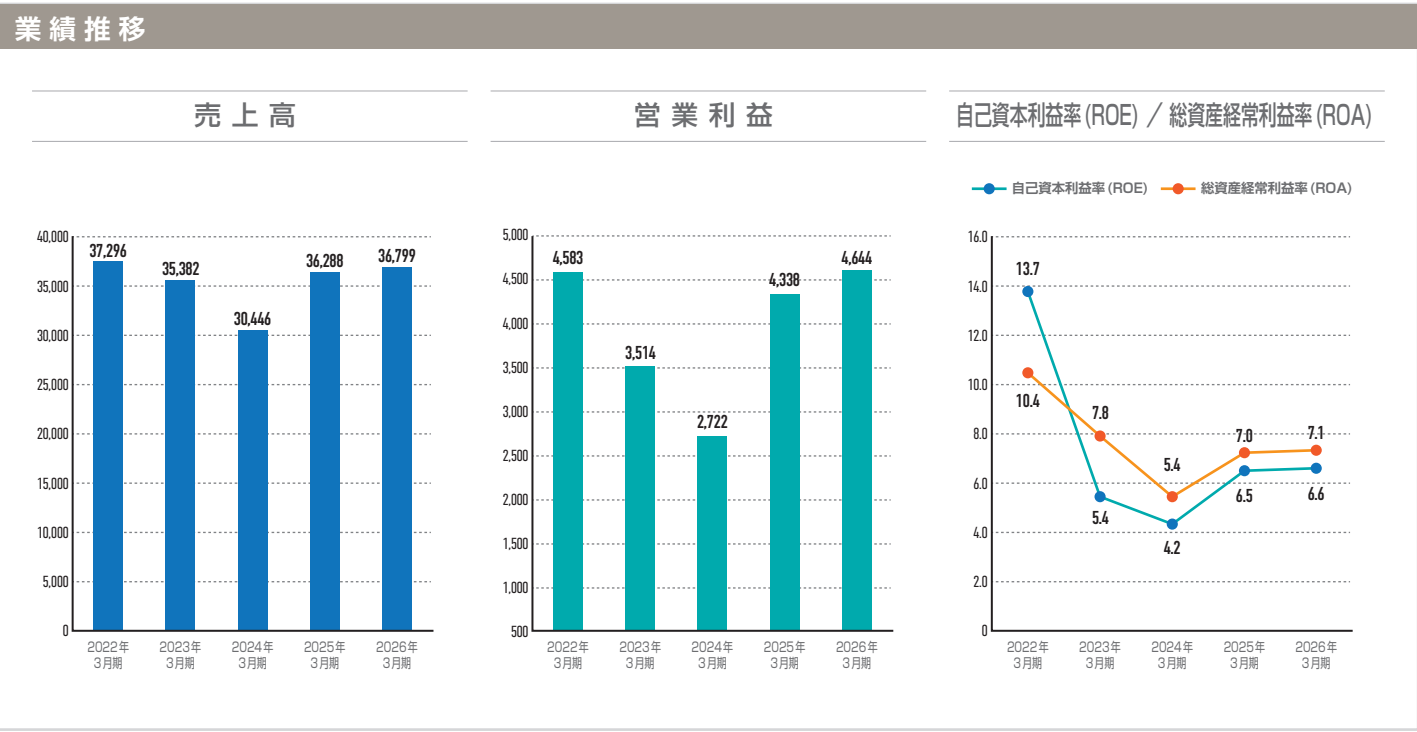
物流の効率化を実現するためには、管理・加工システムの合理化が必要です。倉庫を単なる保管場所としてではなく、物流の重要工程として認識し、最新システムを満載した複合機能倉庫を提供しています。

物流方法や物流容器といった製品および原材料の輸送において、各お客様が抱えておられる諸問題に対し、それぞれの実情に沿った解決策をご提案。ファインケミカル、ペトロケミカル及び食品飲料用バルク輸送容器として需要の高いISO仕様の大型圧力容器を提供するほか、それらの洗浄、整備及びリース等を実施しています。

会社概要

商 号	ステラケミファ株式会社 STELLA CHEMIFA CORPORATION	営 業 部	第一営業部／第三営業部（大阪府大阪市中央区） 第二営業部（東京都千代田区）
本 社 所 在 地	大阪府大阪市中央区伏見町四丁目1番1号 （明治安田生命大阪御堂筋ビル10F）	工 場	三宝工場（大阪府堺市堺区） 泉工場（大阪府泉大津市） 北九州工場（福岡県北九州市八幡西区）
代 表 者	代表取締役社長 橋本 亜希 代表取締役副社長 坂 喜代憲	研 究 開 発 拠 点	次世代材料研究棟（大阪府堺市堺区／三宝工場敷地内）
創 業	1916（大正5）年2月1日	子会社・関連会社	ブルーエクスプレス株式会社 STELLA CHEMIFA SINGAPORE PTE LTD 浙江瑞星フッ化工業有限公司 ブルーオートラスト株式会社 STELLA EXPRESS (SINGAPORE) PTE LTD 星青国際貿易（上海）有限公司 青星国際貨物運輸代理（上海）有限公司 ステラファーマ株式会社 衢州北斗星化学新材料有限公司
設 立	1944（昭和19）年2月1日		
資 本 金	48億2,978万2,512円		
株 式	東京証券取引所 プライム市場		
決 算 期	3月		

IR情報・環境品質



ISO取得情報

適 用 規 格	ISO 14001:2015 / JIS Q 14001:2015	適 用 規 格	ISO 9001:2015 / JIS Q 9001:2015
登 録 証 番 号	JQA-EM4369	登 録 証 番 号	JQA-1094